

博物館経営論

自由

開講年次：3年次後期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：博物館の組織及び施設形態や運営活動について包括的な視点から教示する。文化財や資料の収集、管理、調査研究、活用、教育普及、また博物館の人員構成や活動、施設等の実態について学び、博物館経営（ミュージアムマネジメント）の視点から博物館の運営活動に関して理解を深める。

■**到達目標**：博物館の設置条件、機構や組織を理解し、運営の目的や理念、方法論について考察を深める。併せて博物館の財政基盤や経営について学び、博物館経営（ミュージアムマネジメント）の基礎的な能力を養う。

- ①博物館の制度や様々な組織・運営形態を理解し、博物館運営における今日的な課題を認識する。
- ②博物館の使命や様々な活動の目的を理解し、社会や地域におけるその多様な役割を考える。
- ③博物館が抱える今日的な問題を理解し、ミュージアムマネジメントについての理解を深める。

■**担当教員**：

佐藤 幸宏

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ミュージアムマネジメントについて
- 第2回 博物館の行財政制度
- 第3回 博物館の財務形態
- 第4回 博物館の施設・設備
- 第5回 博物館の組織・職員
- 第6回 博物館の展示・教育普及活動
- 第7回 博物館の使命(ミッション)・計画・評価
- 第8回 博物館の倫理(行動規範)
- 第9回 博物館の危機管理
- 第10回 博物館利用者との関係(広報、マーケティング、利用者調査等)
- 第11回 博物館における市民参画(友の会、ボランティア、支援組織等)
- 第12回 博物館ネットワーク及び他館との連携
- 第13回 他機関(行政・学校・教育機関)との連携
- 第14回 博物館と地域社会(地域の活性化や社会との連携)
- 第15回 まとめ

■**教科書**：特定の教科書は用いず、講義内容に応じて、適宜、資料を配布する。

■**参考文献**：大堀哲編著『博物館学教程』（東京堂出版）

大堀哲・水嶋英治編著『新博物館学教科書 博物館学Ⅲ—博物館情報・メディア論*博物館経営論』（学文社）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業内レポート	○	○	◎	授業内容を理解していること	40
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢	20
出席	○	○	○	完全出席はプラスの評価	40

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：博物館概論 博物館資料論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：今日、博物館を取り巻く時代や社会状況は大きく変化しています。現職の学芸員としての経験や時事的な問題を事例として扱いながら、現代における博物館運営の問題を一緒に考えてゆきます。